

～市民が運営する新しい映像祭「市民がつくるTVF」プレ・イベント～
全国のビデオ愛好家から159作品が集まる

・ドキュメンタリー作品が8割を越す ・ベテランから学生までの幅広い層から応募

特定非営利活動法人市民がつくるTVF(代表理事:小林はくどう)が初めて主催する映像祭「市民がつくるTVF」プレ・イベント*には、全国33都道府県より159作品の応募がありました。

応募者は、全国各地のビデオクラブのメンバーや中学・高校の放送部員、ビデオ作家、ジャーナリスト志望者、NPOで活動するスタッフなど、幅広い領域からの参加がありました。

年代別の傾向では、60歳以上が全体の61%で、ベテランらしく地域の伝統や自分の人生のあり方を丹念に撮影した作品が目立つ一方、10～20代(24%)の学生によるフレッシュな視点と斬新な発想で描かれた作品や1～3分間という短い時間の中で自分の思いを手際よく相手に伝えるなどインターネットによる動画配信時代を反映した傾向もあらわれています。

作品傾向は、ドキュメンタリー作品が全体の8割以上を占め、プロと遜色のない優れた表現力の作品が顕著になっています。主な内容は、①自分の心情を吐露し、家族の絆を確認しようとする作品 ②長寿社会を背景に、世代間の家族のあり方を考えさせる作品 ③障害を抱えた人たちが明るく前向きに活動に取り組む姿勢を描いた作品 ④自然、環境の問題を身近な生活に置きかえた提案型作品 ⑤地域の祭事や伝統行事から、日本人の精神を伝承しようとする作品など、作品性、時代性、社会性などに優れた秀作が目立っています。

現在、応募作品は最終審査段階に入っており、発起人でもある審査委員(下記参照)の方々が、優秀作品賞(12本)、ビデオ大賞(3本)を選出しています。

なお、発表・表彰式および上映会は、2010年1月30日(土)に日本工学院専門学校(東京都大田区西蒲田)で開催する予定です。

※「市民がつくるTVF」プレ・イベントは、31年間継続してきた国際的ビデオフェスティバル「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催)の精神を継承し、市民の有志で新しく運営する市民映像祭で、本格的に開催する2010年を前に国内限定(日本在住者に限る)で開催するものです。

【審査委員】 大林宣彦 (映画作家)
小林はくどう (ビデオ作家・成安造形大学教授)
佐藤博昭 (ビデオ作家・日本工学院専門学校講師)
椎名 誠 (作家)
高畑 勲 (アニメーション映画監督)
羽仁 進 (映画監督)

【入賞作品発表】 2010年1月中旬に「優秀作品賞」「ビデオ大賞」をホームページで発表

【発表・表彰式/上映会】

2010年1月30日(土) 日本工学院専門学校・デジタルシアターにて
(東京都大田区西蒲田 5-23-22)

最寄り駅: JR 京浜東北線、東急池上線、東急多摩川線「蒲田駅」

(本件に関するお問い合わせは下記にお願いします)

特定非営利活動法人 市民がつくるTVF 事務局長 牛頭 進 (ごず すすむ)

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 オフィスムーンビル 2階 TEL 03-6206-8655 FAX 03-6206-8656

URL: <http://tvf2010.org/>